

塩沢川支流立安沢右俣

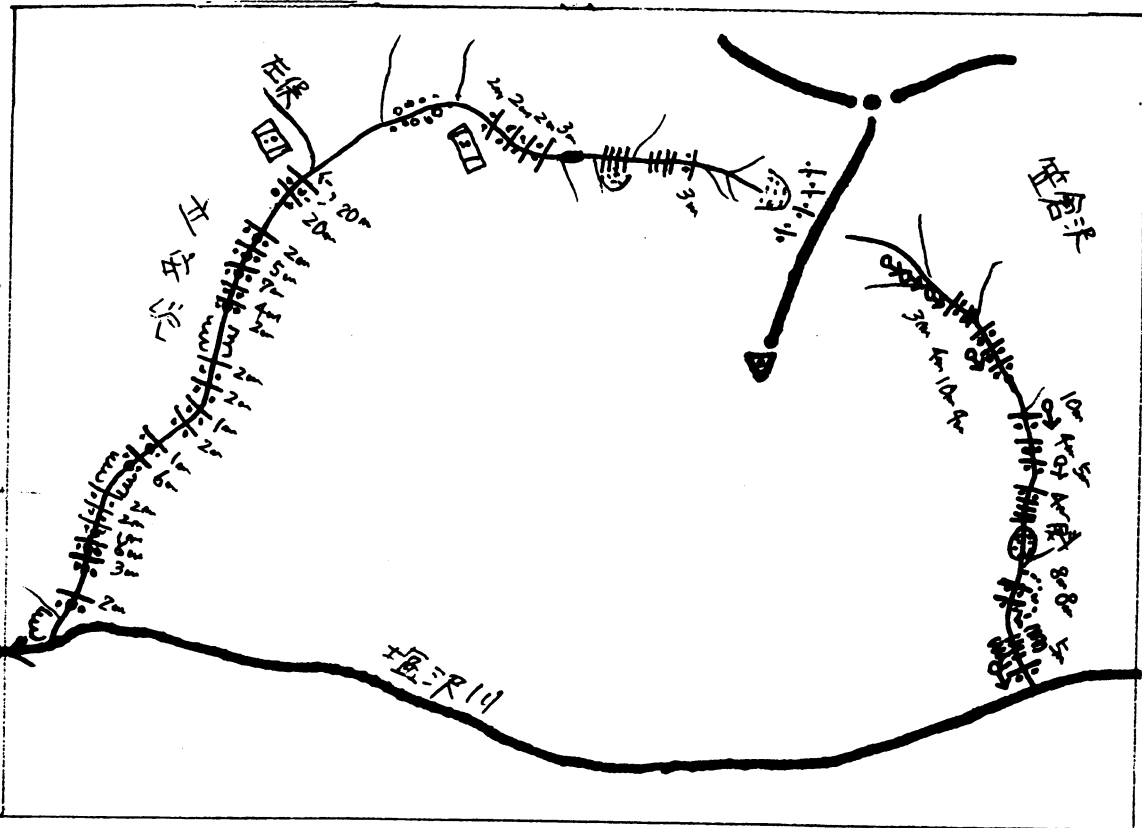
1995年7月30日
L:

キャンプ地から早朝に車で移動し、出合まで歩いて遡行開始。

出合から10分、釜の中にイワナの魚影を発見する。先が長いので、姿を見ただけで先に進む。3~6mクラスの滝が連続するようになり、ゴルジュの様相を呈してくる。この先も連続して滝がかかり、飽きることのない遡行が続く。

行程的にみて3分の1、標高で約500mくらいの地点まで来たが、まだまだ2~6mの滝が連続する。本日最大の滝20mは何とか登れたが、次の20m滝は左岸を捲く。するとすぐ二俣で、目的である右俣を進む。

しばらく進むと平坦となり、沢の様子は一変して、ゴーロ歩きとなる。沢の中にはまだまだイワナの姿を見ることができるが、先に進むにしたがって水量がどんどん減ってゆく。二俣までは結構楽しめたのだが、この後は2~3mの滝が



ポツリ、ポツリ。いずれも直登可能である。

だんだん傾斜がきつくなり、最後は草付のスラブを登り、尾根に出て終了とする。
(記・

[タイム] 立安沢出合(8:20)→二俣(9:45)→尾根(11:40)

焼石岳・尿前沢

1996年8月24日

.....

今朝方上がった雨の影響が心配されたが、川に降りたら濁りはわずかで、リーダーから遡行OKが出て、ホッとす。まず8mの滝の左岸を小さく捲く。このあとすぐハタシロ沢、クロ沢、方円沢と出合い、ゴルジュの滝へ。ここも左岸を捲くが、2段滝のすぐ上に5m滝があり、これもついでに捲いて河原に降りると、息もつかず左岸が高い壁となった40mくらいの滝に出合う。ルンゼを登って岩棚をトラバースしようとしている先行パーティを見かける。以前加藤さん達が来た時とったルートと同じだそうだが、トラバースが厳しいとのことで、今回は右岸に取り付いて、クロ沢と方円沢を分けるやせ尾根に出る。本流が屈曲しているのと、木が邪魔なので、谷の中の様子はわからない。

1時間の高捲きで、高さのよくわからない滝の上に出る。次の5mの滝を越えるとナメとなり、やっと沢歩きが楽しめると思った矢先に、3段の美しいナメ滝に出会い、うれしさが倍加する。雨のため水量が多く、滝いっぱい水があふれ、美しい。

この幸せもすぐに終わってしまった。8mと3mの2段の滝の左岸を小さく捲いて降りると、三ツ俣。目的の左沢が滝で合流。これも右岸を高捲くが、腕力だけで体を吊り上げなければならない所があり、意外に難しく、最後は懸垂で下降し、2時間もかかる。

3mの滝を越すと、今日のハイライト高さ20m、長さ30mのナメ滝が出現。